



## 今度はヒラリン、名人倒し一気に頂点へ!

子どもは RYO 加藤、女流はチホコちゃんが獲得

戦乱に拍車をかけるスギ花粉。アレルギーのある人にはつらい季節だ。春とはいえまだ肌寒い板橋平和公園で、第五期赤中王戦を開催しました。受験を乗り越え若頭が凱旋、最年少キイチ君は絶好調です。

加工するみんなの目は真剣そのものだ。この位一所懸命勉強もしてくれたいのに、なんて言わないでくださいご父兄のみなさん。子どもは外で遊ぶのが仕事ですから。7月の加工王に向け張り切って行きましょう。では名人戦三月場所から。勝点を伸ばしたハルク大竹が暫定トップ、2位ミスター、3位松ちゃんがこれに続く。小学生は篠ヒデがトップ、2位ツッチー、3位に篠ケンだ。女流はミセスが他を圧倒してトップの座を譲らない。でもまだ第1コーナーを曲がったばかり、先は長いからバテないように気をつけてください。

第五期を迎えた赤中王戦、予選1位通過はツッチー、ヒロナオ、RYO 加藤、ハルク大竹、池ママ、若頭中島、チホコ、六角渡部の8名。花粉症組の松ちゃん、Mrs.高橋、狭山水村は予選落ちとはつらいねえ。0点のカイチョーは勝てない訳だ、マイベーがジェット噴射で、勝手にサヨナラしちゃうんだもんなあ。珍しい負け方にみんな吹き出し、しばらく笑いが止まらない。そして決勝リーグでは釣人今村、ヒラリン、六角渡部、中島名人が1位通過、調子の良いものだけが上がっていく。中でも目を引いたのが20世紀最後の申し子キイチ君だ。デビュー2戦目にして中島名人をすっ飛ばし、決勝トーナメント進出を決める。大器とはこのことか、三枝一家がますます楽しみになってきた。

こうして残った8名による決勝トーナメント。ハジキが良くなった RYO 加藤、師匠がいいからベーに磨きがかかってきたね。しかし釣人今村のハリケツの前にリキ負けは惜しい。キイチ対ヒラリンは投げ合うこと10回、これにリキ勝ちしたヒラリンは、釣人今村をすっ飛ばし初の決勝3番勝負に挑む。一方、ワイルドカードから勝ち上がった中島名人は、Mアキラをすっ飛ばし貫禄を見せ付ける。名人戦で勢いに乗るハルク大竹、六角ベーにリキ勝ちするも、名人に飛ばされチカラ尽きる。飄々と勝ち上がったヒラリン、キイチ戦では全員を敵にまわしてやりづらかったろうが、名人相手なら遠慮はいらない。まずは名人ベーのケツを一発出しで観衆を驚かせると、今度はリキ勝ちで連勝のストレート勝ち。あっさりと取っちゃった初タイトル。こんなに早くタイトルに手が届くとは、本人も思っていなかったに違いない。女流はチホコ、池ママ、なっちゃんの三人による決定戦でチホコちゃんが、子どもは RYO 加藤がキイチ君をすっ飛ばし、久々のタイトルに顔がほころぶ。何かが変わった、そんな三人の優勝だ。オメデトー!



ヒラリン、チホコちゃん、RYO加藤 おめでとう!



### シリーズ 田口コレクション その16



これは貴重な一品だ。

みんなのおじいちゃんの時代の  
“のらくろベー”。「少年倶楽部」

に連載されたマンガの主人公。

のらいぬくろま

野良犬黒吉が本名だと。